

令和7年度 技術・家庭科 授業改善推進プラン

大田区立矢口中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・授業に関する関心が高まり、実践的・体験的な学習をより多く行うことによって生徒が意欲的に学習に取り組む様子が見られた。
- ・ICTを活用した場面を増やして、他者と協力して学ぶ活動を多く取り入れることによってより深い学びができた。

(2) 課題

- ・機械や工具、裁縫や料理に関する理解が低いため、丁寧に指導する必要がある。また、作業の進度に差ができたことで一斉指導が難しかった。
- ・知識・技能の習得だけでなく、実際の生活に生かそうとする実践的な態度を養う授業づくりを行うことが課題である。
- ・ものづくりに対する関心や意欲はあるが、生活の中でのものづくり体験に乏しい。

3 授業改善のポイント(観点別)

(1)第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
木材の性質を理解させることが重要であり、授業では画像データを多く使用して、科学的な根拠がわかりやすい授業資料の作成を行う。 生徒の実態に合わせて食育を行う。	知識の習得状況にあった課題を設定し、スモールステップで工夫した課題を作成し、生徒に取り組ませる。	実習やワークでの取り組みを振り返れるように指導を行うとともに、改善に向けた取り組みができるように授業中に実践する機会を設ける。

(2)第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
実物を示したり、実際に触れたり、体験する活動を増やして技能を定着させる。 電気についての基本知識や利便性に触れると共に、感電・漏電など、身の安全にかかわる内容を充実させる。	作品製作の計画を立て、毎時間見直すことで、見通しをもつ力をつけるとともに、計画を修正してよりよいものを作るための工夫をする。	適切な目標を設定するとともに、授業中にねらいを明確にして、それに向けた改善や工夫ができるように指導を行う。

(3)第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
キーホルダー製作では、金属の特性に応じた加工を行うよう指導する。 家族や家庭、地域、社会とのかかわりを考え、積極的に解決しようとする力を育てる。	学習内容を踏まえた作品のデザイン・設計を行い、目的に応じた作品製作を行う。	作業工程ごとに振り返るようにワークシートを工夫し、記述した内容で改善すべき点を次の授業で改善するように指導を行う。 毎時間の授業の目標を掲示し、授業の目標を把握できるようにする。

